



ジュニア司書が輝く街に

千葉県八街市教育委員会図書館 主査

高橋 みち子

八街市では、ジュニア司書養成講座を開始して今年で4年目になり、昨年度までに35人のジュニア司書が誕生しました。この講座は、図書館で司書の仕事を学び、友達や家族に本の楽しさを伝えることを目的にカリキュラムを構成しており、対象は主に中学生。認定されたジュニア司書は高校3年まで活動できます。

全10講座・20時間とレポート提出そして認定式からなる本講座は、部活や塾で忙しい中学生にとっては少しハードなものになっています。

内容は、図書館の仕組みや司書のノウハウについて学びながら、子どもたちの図書館利用術が向上するように設定している基礎研修を2講座。その後専門研修として、「本を興味深く紹介するポップの作成講座」、「うちどくノートをベースに和緩じ本を作成する講座」、「読み聞かせについて学び、自分たちでおはなし会を企画実施するための講座」、そして「レファレンスについて学び、実際にやつてみる講座」の4講座を設けています。ここまで約6回と受講生主催のおはなし会の日程は決まっていますが、カウンター実習を含む実務研修（配架・予約・リクエスト・本の修理など）3回は、受講生が自分自身で日程を調整します。

参考

2014年度 ジュニア司書養成講座 全11回 カリキュラム

第1回 7月18日(金)

基礎研修1～ようこそ、図書館へ～
「図書館の役割と司書の仕事」
「図書館見学」

第2回 7月25日(金)

基礎研修2～司書のノウハウを学ぼう～
「本の分類と整理」
「図書館とインターネット」

第3回 8月1日(金)

専門研修1 「おすすめ本のポップを作ろう」

第4回 8月8日(金)

専門研修2 「お気に入りの本を作ろう」

第5回 8月15日(金)

専門研修3 「読み聞かせをしよう」

第6回 8月22日(金)

専門研修4 「レファレンスってなあに」

第7回

実務研修1 「カウンター業務と配架」

第8回

実務研修2 「カウンター業務と本の修理」

第9回

実務研修3 「カウンター業務と
予約・リクエスト」

第10回 8月22日(金)午後 実務研修4 「おはなし会をしよう」

または8月26日(金)午前

第11回 11月9日(日)午前 ジュニア司書認定式

- ・第1回～第6回までは、14:00～16:00まで
- ・第7回～第9回までは、基礎研修終了後～9月末までに各自申請し申し込みましょう
- ・第10回は2班に分かれ、いずれか1日でおはなし会を行います。
- ・全講座終了後、800字以内のレポートを提出し、定められた以上の成績を修めるとジュニア司書認定証を授与されます。(やむを得ず参加できない講座がある場合は補修講座を受講することによりジュニア司書として認定されます。)

講座の回数が進むにつれ、違う学校、違う学年の生徒たちが打ち解けて、自分の好きな作家や最近読んだ本で盛り上がりしている光景を目にするようになると、私たちはこの講座を実施した醍醐味を感じます。

無事、10講座修了後レポート提出を行い認定式が済むと、いいよいよジュニア司書としての活動が始まります。ジュニア司書の活動は、図書館内ではもちろんのこと、地域に飛び出して小



八街市東地区社会福祉フォーラムでのおはなし会

さな子どもたちと本を通した交流も行います。八街市では各地区の社会福祉協議会がそれぞれフォーラムを実施しており、そのなかで子育て支援のイベントを開催する地域でジュニア司書が活動します。ジュニア司書にとって、見知らぬ人とコミュニケーションを取るのは大変なことです。そこは本の持つ力に助けられ、親子連れをおはなし会に呼び込み、絵本の読み聞かせなどで講座の成果を発揮します。

他にも、ジュニア司書が学校図書室の様子を報告しに来るごとによって、市立図書館の司書が学校と相談しながら図書室の改善について助言することもあります。このようなことがきっかけとなり、各学校との連携が促進され「PTA図書室ボランティア」の講師に図書館司書が呼ばれるようになりました。

ジュニア司書養成講座を実施するための、時間的、人的負担は少なくありません。しかし、司書の仕事や図書館について学び、様々な知識や経験を持つた子どもたちが、学校や家庭に戻つて読書の楽しさや図書館の利用術を自然に広めてくれることを思うと、将来の図書館にとって、大きな楽しみです。今後もジュニア司書が輝く街をめざして、この事業の継続に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

児童図書館研究会発行
「子どもの図書館」2014年9月（第61巻9号）